

労働安全研修施設（茨城県木材協同組合連合会）

新材料のはじめの一步

～A材を活用した接着重ね材を県内に普及するために～



■ 建築概要

所在地 茨城県常陸大宮市宮の郷

構造・階数 木造平屋建て

事業費 24,655,510円

工期 令和元年11月～令和2年3月

施工者 (株)角幸

施設用途 林業就労者等の講習・研修施設

延床面積 58㎡

木工事費 13,417,600円

設計者 (株)角幸

木材供給者 (有)野上製材所, (有)皆川製材所

■ 設置者から一言

安全性の高い講習の実現と雨天時の講習が可能となった。なお、新規就労者の育成にも繋げたい。

一般の方にも施設を公開し、県産木材の良さ・温かさを実感していただくとともに木堀・木のおもちゃ等を展示し、県産木材のPRを行う。

■ 使用した木材や工夫した点

大規模建築に用いられてきたBP材を小規模な建物、住宅に使用できる可能性を一般に浸透させ、木造在来工法の部材として認知して貰い、県産A材の需要拡大に繋げたい。

建坪30坪に対し34㎡の県産木材(BP材)を使用するとともに建物の東から西の下屋まで12cm×48cmの大断面を持つ長さ12mの梁材が貫く従来の木構造に先進性を持たせ、意匠も併せ感じ貰うとともに施設利用者に県産木材の良さ・温かさを実感して頂ける施設とした。

なお、無垢材を束ね材としてBP材が基本的に持ち合わせいる十分な性能を小規模建築でも発揮でき、更に施工性が高まるように、人力で移動できる重量の範囲でBP材をパネル化し、従来からの構造用金物も使用でき、新たな加工機械の導入なしで施工可能とし、床・壁・天井の部位同士の接着には鋼板を実として使用することで工期の短縮と施工精度の向上ができた。上棟作業と造作工事が同時に進行できる。

樹種	県産材使用量	使用部	備考
スギ	25.39㎡	柱・梁桁・天井・壁・野地板等	
ヒノキ	8.81㎡	床・柱・土台・大引・木製建具	
計	34.20㎡		